

みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

第44号

発行日
平成23年 6月1日

目次

- | | |
|-----------------|--------------------|
| P2 平成23年度定期総会 | P7 極楽寺山観察会 |
| P3 榊 自然保護官あいさつ | P8 阿多田島観察会・入浜観測 |
| P4 入浜公募観察会 | P9 ミヤジマトンボ・鷹ノ巣清掃 |
| P5 公募観察会アンケート集計 | P10 レンジャーリポート(大高下) |
| P6 平成22年度PV活動記録 | P11 くじゅうと広島・編集後記 |



「極楽寺山(観音山)」

写真は満開のさくら咲き誇る廿日市市・桂公園からの極楽寺山(693m)遠望です。

宮島と同様に瀬戸内海国立公園に指定されている極楽寺山には 昨秋10月と今春3月、観音台公民館と共に 観音道と平良道の町石参道を登って公募観察会を行っています。

弥山からは厳島神社・地御前神社・極楽寺へと真北に一直線に並びます。

7月には ウスキヌガサダケの観察会も行う予定にしています。

(写真・文)

岩崎 義一

(撮影日)

4月10日

PVの会 平成23年度総会

さらなる 10 年に向けての出発点

PV の会では、4 月 9 日（土）杉之浦公民館に於いて平成 23 年度定期総会を開催した。
出席会員 30 名、委任状提出者 12 名（会員総数 47 名）

（出席者）池田 岩崎 大西 小川 奥田 金山 川崎 北野 小林ペア 佐伯 佐渡
佐藤（佐）渋谷 島 末原 田中 富田 中道 平田 平山 舩田 松尾 松田 丸平
宮崎 村上 柳瀬 横路 六重部（環境省）西野自然保護官 大高下 AR

新年度活動計画決まる

1. 総会の開会（進行役：舩田副会長）

- ・ 定刻 10 時に開会の宣言
- ・ 配布資料の確認
- ・ 成立要件の確認（過半数のため成立）

2. 開会挨拶

- ・ 会長挨拶

去年は 10 周年記念行事を無事に終えることができた。これからの 10 年も、これまで通り地道に活動を続けたい。

また 2010 年は国連の「国際生物多様性年」だったが、世界は生物保護に十分な努力をしてこなかった。本会の目的である自然の保護につとめ、生物の多様性の維持に寄与していきたい。

- ・ 環境省・西野自然保護官挨拶

今回の東日本大震災の被災者の皆さまにお悔やみとお見舞い申しあげたい。

昨年は名古屋市で生物多様性条約「COP10（締約国会議）」が開催されました。主な事柄は、ABS（遺伝資源の取得と利益配分）の扱いの合意、日本発の里山（SATOYAMA）の国際的認知などでした。

宮島 PV については、10 年間の活発な活動歴や会員数の増減がないなど全国的に例

がない PV です。

4 月 1 日付で桑原自然保護官が中部地方環境事務所へ転任。榊 自然保護官（鹿児島自然保護官事務所）が着任予定（次ページに挨拶文）。

- ・ 環境省・大高下 AR 挨拶

3 年目になりますが、この会について、1 年目は環境省の他事務所からの問い合わせ、2 年目は外部の人からの問い合わせが多かった。

宮島が国立公園・世界遺産だけでなく、自然が豊富であることが忘れられている。

3. 総会議事（議長：村上会長）

幹事会原案の次の 4 議案につき報告・審議がなされ、異議なく承認された。

ア．平成 22 年度活動状況について

イ．平成 22 年度決算（案）について

川崎監査員から適正との監査報告

ウ．平成 23 年度活動計画（案）について

会長・各部会長から説明

エ．平成 23 年度予算（案）について

4. 意見等

- ・ 積立金の活用方法について

- ・ 小林・末原：当面の行事予定の説明

5. 出席者全員の自己紹介

6. 総会終了（11 時 40 分）

（平田 広三郎）



満開の桜の下で記念撮影

総会後の活動（小なきり浜）

（植物）：北野 小林（勲）中道 六重部

今回は、舩田さんがマップに植物名をゾーン分けして落としてくれていたので、それを基本にわりと楽にチェックできた。かなり奥の方まで足をのばしたのと目が八つあると言う事で今までに気付かなかった樹木もたくさんありました。追加の植物はマップに追記しました。去年は「ザイフルボク」が満開だったそうですが、今年は七分咲きと言うところかな？コバノミツバツツジが一輪咲いていると皆で拍手……。ハマゴウの枝が伸び繁殖力の凄さを見ましたが、いつもハンゲショウの咲く部分は水が少なくて心配でした。（小林 勲）



（鳥）

確認できたのは普通種ばかり 14 種と少なかったのですが嬉しい発見がありました。杉の浦堤防でみかけたセグロセキレイが、口一杯に枯れ草を銜えての巣材運びでした。繁殖に備えて巣作りの最中と思われます。セキレイの子育ては比較的早くから始まるようです。いくつの卵を産むのでしょうか。ヘビやカラスに見つからないように無事に子育てをして欲しいものです。満開の桜とともに、鳥の世界にも春を実感した一日でした。

確認できた鳥

アオサギ ミサゴ トビ キジバト コゲラ
ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ
ウグイス ヤマガラ シジュカラ
メジロ スズメ ハシボソガラス（14種）

（大西 順子）

桑原さんの後任自然保護官

榊 博司さん あいさつ

鹿児島自然保護官事務所から異動してきました、榊です。どうぞよろしくお願いします。



瀬戸内海国立公園は、岡山事務所に2回で7年数ヶ月、高松自然保護官事務所に1年数ヶ月の合計約9年勤務していました。今回で約10年ぶり4回目の瀬戸内海です。事務所は当時にはなかった環境対策や廃棄物・リサイクル対策の業務も行うこととなりました。

約10年前に岡山事務所に勤務していた頃に、当時の広島自然保護官（注：杉本頼優さん）が頑張って宮島地区パークボランティアの会を発足させ、私も多少そのお手伝いをさせていただいたことを記憶しています。発足時からの会員の方は、覚えていただいている方もおいでかも知れません。それから10年以上が経過し、活動計画もみせてもらいましたが、とても活発で、他地区のPVの見本になるのではと思います。発足に多少関わった者として安心するとともに誇りに思います。

これから、会の活動にも可能な限りお手伝いさせていただきますので、どうぞよろしくお願いします。

（整備・清掃）

整備：公民館廻りの桜の木に巻いてある鹿食害対策用ネットの取り外し作業を行いました。

清掃：浜には相変わらず流木と牡蠣パイプが散乱していました。牡蠣パイプについては腹立たしいのですが、4月16日の島外観察があった阿多田島の牡蠣打ち工場で、パイプを再生する機械をみたことで、すしは安心しました。

（末原 義秋）

新宮島八景 「入浜海岸と汽水池」

公募観察会 自然散策と歴史

日 時 2月27日(日) 9:30～16:00
 参加者 足立 井上 岩崎 大西 小川 北野
 小林ペア 近藤 坂本 佐藤(佐)
 佐藤(庸) 島 末原 中道 野呂田
 平田 平野 舩田 松田 丸平 村上
 横路 六重部 西野自然保護官

2月27日今年度3回目の公募観察会を包ヶ浦からたかのす歩道を歩き、入浜にて実施した。この観察会では昨年PV設立10周年を記念して選定した「新宮島八景」を一般に紹介していくこととなった。

事前の中国新聞告知記事に大きな反響があり、定員を超える50名の一般参加、PVと取材陣を含め80名もの大人数となった。



入浜での解説

「安芸の宮島巡れば七里、浦は七浦七恵比寿」と唄にうたわれている七恵比寿のひとつ、そして砲台構築のためお引越させられたことでも知られる鷹巣浦神社まで、包ヶ浦から海岸線の道路を通ってのコースです。宮島特有のものがかずかずあり、植物の説明に「初めて知った」と驚きの声があちこちで聞かれ、岬を巡るたびに変わる美しい風景にみとれ、低砲台の説明には今話題のNHKドラマ「坂の上の雲」のストーリーに重ねながら耳を傾けていました。

美しい瀬戸内海の景色を見ながら昼食を終

えた後、会長から日本自然保護協会の日本全国の自然海岸の実態調査において宮島全域21カ所を当PV会が担当、その中で入浜に着目、2006年から清掃や定期観察を続け、資料に残していることを説明。各会員から入浜池の水質モニタリング、環境の指標を知る手がかりとしてのトンボやヤゴに着目して行っている調査の内容、宮島と他の地域との植生の違い、今日見られた鳥の種類などの発表を行いました。

続いて相次ぐ台風で砂浜が押し寄せ海と池をつなぐ水路が埋まって淡水化した入浜を汽水池に戻す取り組みのため、2006年さまざまな法律をクリアし溝掘り作業を行った海までの150mの水路を見学しました。

うす曇りでしたが心配された雨も降らず、会員がそれぞれに思い入れの深い入浜の観察会は参加者にいろいろな感動を与え無事終わりました。参加希望者が多くお断りさせていただいた方もいますので、またこのコースでの観察会を開催できればと思いました。



たかのす歩道での植物観察

広島ホームテレビ「Jステーション」

3月3日(木)17:45に放映

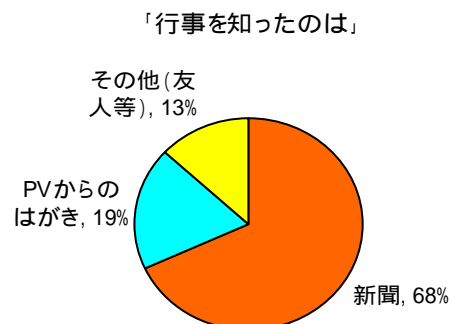
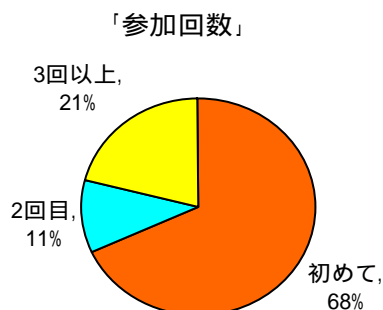
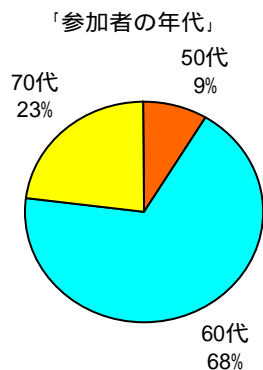
この番組の中では当日の観察会の模様だけでなく、PVの会の10年にわたる活動状況や新宮島八景などについて以前の写真なども交えて紹介されました。

今回は広島ホームテレビと中国新聞が取材に来ましたので、諸注意の時、カメラを向けられたらニッコリと笑むようにと云うことも付け加えられました。

(野呂田 恵子)

[たかのすコース・入浜 公募観察会アンケート集計]

平成 23 年 2 月 27 日 参加者 50 名 回答 47 名 参加者の性別(男子 40% 女子 60%)



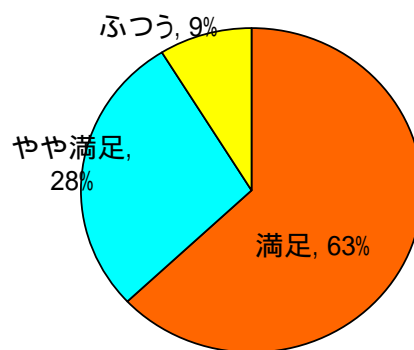
この行事に対する感想は

宮島のことを知ることができて楽しい
説明時にスタッフの雑談の声が大きく聞き取りにくかった
植物への関心が強くなった
説明状況・スピード(歩く)とも良かった
こんなに素敵とは思っていませんでした
歩くことの楽しさを味わう事ができました
よく歩き楽しい説明を聞き自然の中で素晴らしかった
単独で歩けないよい場所でありありがとうございました
知らない宮島を説明を聞きながら新鮮でした
スタッフの方々 よく精通している
宮島独特の自然に親しむことができた
わかりやすく話して頂ける
花を見ても意識が違うと思う
話の輪に入れる
子ども・孫に伝える
知人が他県からこられたとき等の話のネタ
日頃、固有名詞をきちんと正確に覚えたいと思った
これからは宮島に関心を持ちたい
人に少し説明ができる
いろんな人との交流で話したい
友人とゆっくり歩ければと思います
友達に話をする 一緒に歩いてきたい
幅広い知識を得たことで一人でも多くファンを広める
次回も参加したい 植物に関心沸いた 山歩きに生かしたい
友人に話してあげたい
知人を案内する
山などに登り木々を見る目が違う

その他、ご意見、ご要望があれば

入浜での説明時間が長く寒かった
宮島について学ばせていただき古い歴史の重さを感じました
発表会が長い・説明時間が長い
次回の催し(日付)を知りたい
今回の準備をしてくださったことに心から感謝
植物の名前を漢字で教えていただき覚えるのによかった
初めてのコースでこんなに歩くと思っていなかった
のびのび楽しく参加させてもらい、有難うございました
出発前までの説明時間をもう少し短くしてほしい
出発までをもう少しテキパキと 時間を短くしてほしい
違う宮島へまた来たい・次回も是非参加したい
普段行けない所なのでとても楽しみにしています
植物の説明は万全でしたが歴史をもう少し話してほしかった
環境保護への熱意に感心しました

「行事の感想は」



平成 23 年度 公募観察会予定

6 月 4 日 (土)

新宮島八景「幻の滝」・奥の院
の自然散策

11 月 20 日 (日)

博打尾コース、親子観察会

平成 24 年 3 月 17 日 (土)

江の浦 (新宮島八景・江之浦
の山桜) 室浜コース

いずれも 1 週間前に会員下見会

暑さ・寒さにもめげずにがんばった、この1年

平成 22 年度 PV 活動記録 平成 22 年 4 月～23 年 3 月

	開催日	行 事	参加人数	備 考
総 会 等	4/3(土)	平成 22 年度定期総会	39	午後小なきり浜清掃
	12/4(土)	臨時総会・研修会	31	役員改選・救命講習
	6/3～8(6/5)	PV 設立 10 周年記念行事(ぎ宮郷)	34	来場者延べ 377 名
観 察 部 会	6/19(土)	公募観察会 博打尾コース	14	公募参加 22 名
	11/20(土)	同上 山麓遊歩道、親子	17	同上 28 名
	H23、2/27(土)	同上 新宮島八景・入浜	24	同上 50 名
	4/3(土)	自主観察会 小なきり浜周辺	30	植物・生物調査
	6/12(土)	同上 博打尾コース	21	下見(兼)
	8/7(土)	同上 小なきり浜周辺	14	野鳥・干潟観察
	9/18(土)	同上 佐伯運動公園	10	ハチクマ渡り観察
	11/13(土)	同上 弥山々麓遊歩道コース	16	下見(兼)
	H23、2/20(土)	同上 新宮島八景の学習会	19	下見(兼)
	5/29(土)	同上 OP 革籠崎	10	自然
	H23、1/29(土)	同上 OP 岩国市門前川他	11	冬鳥観察
	H23、3/19(土)	同上 OP 島外：極楽寺山	15	自然・歴史、一般 18 名
	H23、3/6(日)	下見 平良コース	11	
	10/16(土)	植物マップ作り(弥山々麓遊歩道)	16	樹木名板班と協働
	5/15、7/17、9/11、11/27、1/22	入浜定点観測	延べ 67	3/12 中止・大震災 3/11
環 境 整 備 部 会	4/3(土)	小なきり浜清掃	()	
	5/15(土)	鷹ノ巣高砲台跡整備・清掃	18	
	7/10(土)	包ヶ浦海岸清掃	22	ソーメン流し
	7/26(月)	管絃祭前、厳島神社海浜清掃	10	アオサ除去
	8/1(日)	自然公園クリーンデー(海浜清掃)	15	一般参加 21 名
	9/25(土)	岩船岳天然林調査(大江浦貝殻塚)	9	
	10/16(土)	樹木名板保守点検	()	あせび、もみじ道等
	10/23(土)	もみじ谷公園地清掃桜テングス病	13	一般参加 10 名
	5/15、7/17、9/11、11/27、1/22	(定点観測日) 入浜池汽水化復活作業	(-)	コシダ刈り
そ の 他	9/10(金)	ミヤジマトンボ生息地保全(秋)	11	その他参加 23 名
	H23、3/28(月)	同上 (春)	9	同上 10 名
	7/3(土)	PV 研修会 (生物多様性)	29	環境省主催
	H23、2/5～6	PV 活動研修交流会 (九重連峰)	10	くじゅう地区 PV の会
	8/28(土)	広島大学観察会協力(植物実験所)	12	夏休み・子供等 4 名
	10/31(日)	極楽寺山 (観音台公民館)	15	一般参加 13 名
	10/11(月)	下見 観音コース	9	
	8/22(日)	環境省ふれあい行事(宇品海岸)	6	磯の生き物水族館
	11/19(金)	宮島エコツアープログラム(海域)	3	宮島一周(船)
	12/22(水)	同上 (陸域)	8	弥山登山道

極楽寺山観察会

(島外観察)

日 時 3月19日(土) 9:00~16:00

参加者 岩崎 大西 小方ペア 川崎 北野

小林ペア 坂本 渋谷 富田 野呂田

舩田 村上 六重部 公募参加者(18名)

今回の自主観察(島外観察)は、広島市観音台公民館主催の「観音山(極楽寺山)自然と歴史のトレッキングパート2」行事への協力を兼ねて行われました。場所は広島市佐伯区と廿日市市の境に聳える極楽寺山、標高693mです。

登山ルートは、前回観音ルートに登ったため、今回は平良ルートとなりました。9時に廿日市駅前に集合、観音台公民館竹本館長と村上会長の挨拶、小林部会長の諸注意があり、早速3班に分けられました。

北野会員の指導でストレッチ体操をして9時20分出発。西広島バイパス横の1丁町石と2丁町石、お菊地蔵の前で岩崎会員が説明。宮島の町石とは異なり極楽寺の町石にはすべて梵字があり夫々が仏様と同じだそうです。



町石の説明

極楽寺山の歴史を感じながら平良第2号トンネルを抜け、登り始めました。ヒサカキの白いつぼみがまさに開かんとして鈴なりになっていました。先週の寒波でどの木も開花が遅れているようでした。途中、2回の休憩をとり12時30分、極楽寺展望台に到着し、すぐに昼食となりました。昼食後、竹本館長の発案で「東日本大震災」被災者へお見舞いの一分間の黙祷をしました。

続いて、北野会員からこの山では植物の一両、十両、万両は見られるが百両と千両はみ



展望台での説明会

つからないと説明。小方(為)会員がカクレミノの説明と天狗の隠れ蓑の昔話の紙芝居。六重部会員からは、宮島と極楽寺山の植生の違いについて説明があり、宮島の特殊性を再認識しました。また大西会員から今日確認した野鳥は12種だったとの発表がありました。

楽しく聴いているうちにすぐに出発予定時刻になり、14時展望台を出発。下りは、やや口数も少なくひたすら歩き、16時過ぎに全員無事廿日市駅に帰着しました。絶好の登山日和で、里山の歴史、植物、野鳥と幅広く勉強でき一般参加者も満足気の様子でした。

(川崎 昭壽)

(P8右段から)

新たに見つかったもの

ウラジロマツバサ(マツバサ科マツバサ属)

(落葉する性木本) 浜の西側の道路わきで

ウラジロマタタビ、ヤマイバラやハマニンドウなどのつる性木本に混じって生育。

シャクヤク(ボタン科ボタン属)(夏緑性多年草) 開拓地のフェンスの中で開花

(六重部 篤志)

【水路整備など維持管理作業】

池の出口に押し上げられたゴミの除去、池周囲のカキガラパイプの収集、海水入口部に放置された櫓の残骸の除去、ゴミピットの周囲のカキガラパイプやガラス片の撤去を実施した。

【お断り】水生生物に関する松田さんのレポートは次号に詳細掲載します。

～5年ぶり～ 阿多田島観察会

日 時 4月16日(土) 9:30～16:30

参加者 大西 小川 金山 川崎 北野

小林ペア 佐藤(佐) 佐藤(庸) 渋谷 末原

中道 平田 丸平 村上 横路 吉崎

9:30 のフェリーで大竹から阿多田島へ渡った。島では北風が結構強く吹き、日陰では寒く感じるほどであった。島で最初に訪れたのは阿多田神社です。この神社の入口には2対の狛犬が鎮座していたが、奥の狛犬は2頭とも口をあけていた。

拝殿をみてまたびっくり。象がいた。この後、観音山に登り、観音様をみた。この観音様は、佐世保の



象の彫刻

方向を向いているとのことで、確かに西の方を向いて安置されていた。この観音堂からの西の景色の海と島影のコントラストがすばらしいものであった。

観音堂から東を見ると海の真ん中の岩礁に灯台が建っています。これが安芸白石灯標といわれる灯台だと思う。



観音山からの景色

としてしか見えなかった。

その後で、灯台の記念館を訪ね、灯台の歴史に思いを馳せ、趣のある建物、展示品を見学したが、展示品の中に波力発電機があったのには、素直に驚かされた。いつから使用していたとの説明は見当たらなかったが、かなり前から再生可能エネルギーの利用が行われていたのを間近にみることもできたと思う。昼食は海岸で取ったが、海がきれいで、毛牡蠣、岩牡蠣などきれいな海の指標となる生物が見つかり、岩牡蠣は非常においしかった。

またひじきも大量に持ち帰ることができた。

全体として阿多田島はごく普通の瀬戸内の島という印象で、田舎を思い出させる島であり、懐かしく感じた。専門的なことは分らないが宮島の原始林とは、植物の種類にかなり違いがあると感じた。特に竹やぶが多く見られたのが印象に残った。

(吉崎 俊)

入浜定点観測

及び維持管理作業

日時 平成23年5月21日(土) 9:30～14:00

天候 くもりのち晴れ 満潮 11:46 299 cm

参加者 井上 小方(嗣) 小川 奥田 川崎

小林(勲) 佐伯 佐藤(佐) 末原 中道 平田

舛田 松田 村上 柳瀬 横路 六重部

【水質調査】

今回から「広島海環境づくり助成金」で購入したゴムボートを使い、池の中央まで安全に調査ができるようになった。池の水位は、10日前ごろ降った雨のため3年前の6月に比べ1～3cm高かった。

測定結果 (H23.5.21)

	A	B	中央	山水	海水
PH	6.3	6.2	6.8	6.9	7.9
塩分	0	0.06	0	0	2.2
COD	10	10	10	5	-

【水生生物】

オツネトンボ、ホソミオツネトンボ、シオカラトンボ、ギンヤンマ、アオモンイトトンボ、クロスジギンヤンマ、ユスリカ幼虫、スジエビ、ゲンゴロウ(2種)、メダカ、ベンケイガニ、カエル(4種)

【植物観察】

池の周辺を反時計回りに調査。何時ものことながら、今回も新たな発見がありました。

まだ蕾のもの(もうすぐ開花)

ウラジロマツバサ、ウラジロマタタビ

開花が見られたもの

カナメモチ、クスノキ、シャクヤク(植栽) ジャケツイバラ、ツブラジイ、ナンゴクウラシマソウ、ホウロクイチゴ、マルバウツギ、ヤマイバラ

(以降P7右段につづく)

ミヤジマトンボ生息地保全作業

日 時 3月28日(月) 9:30~15:30

参加者 釜谷 五石 小林ペア 近藤

佐藤(佐) 平田 平野 三次

環境省 西野自然保護官 他団体 9名

去年の9月以来の総勢19名での厳しい作業でした。当会は水路の復旧を担当し、他の班は隣の浜のススキの刈り取り(ヤゴ4匹確認)を実施しました。水路の状態は山側の土のう積みはほぼ健全でしたが、海側のそれは跡かたもないくらい消滅してしましたので、少ない人数ながら400袋の土のうで新たな側壁を作り、潮位3m60cmぐらいで池に海水が入るようになりました。

池は、少降雨や海水の浸入によるアオサの堆積で汚れていたのを排水で少し排除できました。冬の巣ごもり状態を覚醒させるような春の強烈な日差しの中での作業と震災の復興資材をフル生産するかのような大竹の工場群の白い煙が印象的な満足のいく一日でした。(平田 広三郎)



・水路が殆どない状態



・水路が完成した状態

『鷹ノ巣高砲台跡の整備・清掃』

日 時 5月14日 9:00~14:30

参加者 足立 井上 岩崎 大西 川崎

小林(勗) 佐藤(佐) 末原 田中

中道 平田 平野 平山 舩田 丸平

村上 柳瀬 吉崎 六重部

環境省 西野自然保護官

当日は、宮島へ向かうフェリーの船上から、「新宮島八景」の一つである「弥山道の幻の滝」が見える幸運がありました。

作業は、二班に別れて、高砲台班は松枯れした高木を除去し、見晴らしを良くしました。方位観測所班は、見学に使われる階段の危険個所を、土のうで補強し訪問者の安全を図りました。



方位観測所跡(写真の位置)での昼食は、心地よい爽やかな風と春蝉の鳴き声、また恒例となった末原さんの奥さんの差し入れ「いこもち」(鹿児島名物)の素朴な味に感動しながらの楽しい時間となりました。

午後、全員で観測所と道中の整備・清掃を行いながら帰途に。希望者は「サツマニシキ(蛾)」の確認に行き、ヤマモガシの葉の捕食跡を発見。美しいサツマニシキの飛び交う姿を思い浮かべ、心地よい汗と笑顔の一日でした。(佐藤 佐十四)

サツマニシキ マダラガ科ホタルガ亜科

- ・分布 東南アジア亜熱帯、紀伊半島以西
- ・分類 日本産は28種、成虫は昼飛性で派手な色彩が多い。幼虫は太く粗毛で、成虫とも臭いのある黄色の分泌物を出す。
- ・幼虫の食樹はヤマモガシ・クヌギ
- ・幼虫はずんぐりした黒の地色に顕著な黄白色斑のある35mm前後の毛虫
- ・本土では年1化(最近は2化)成虫は5~7(10)月に活動。幼虫は硬い葉(2・3年葉)を好み舐めるように食べ、食痕を残す。「みせん 25号」を参照してください。

(文:松田 賢 から抜粋)

レンジャー
レポート

国立公園の

いま

3



広島事務所

アクティブレジャー

大高下理恵さん

瀬戸内海国立公園

指定 1934年

広さ 陸域6万6934ha

観光 平家ゆかりの厳島神社がある
宮島や、天久島、能登島、白島
などの山頂には展望台が整備され、
島が点々と浮かぶ瀬戸内海の美しい
風景を見ることができます。



瀬戸内海国立公園

千を超える島々に豊かな生態系



厳島神社は、戦後の天然記念物「厳島神社」に指定され、年々30万人以上の人が訪れます。

高見山から見た瀬戸内海は、一年を通して青く輝く。晴れた日には、島まで見渡せます。

一年を通して瀬戸内海の波はとても穏やかです。大小1000以上の島々が織りなす「多島海」が特徴の瀬戸内海は、1934年に熊鷹、鶴島とともに日本最初の国立公園に指定されました。海域を含めると11府県にまたがる日本一広い国立公園です。今回はそのうち、世界文化遺産にも登録されている宮島のある広島地域を紹介します。

多くの島に段々畑が作られ、海では「カキいかだ」による養殖が行われています。古くから人と自然が共存してきた場所ですが、近年は埋め立てなどの開発が進み、6割もの自然海岸が失われてしまいました。磯や干潟、藻場などの海岸にすむ生き物たちはどこに行ってしまったのでしょうか――。

その中で、広島県廿日市市にある宮島は、島の全域が国立公園に指定されており、ほとんどの海岸が自然のまま残っています。絶滅が心配されているシバナやチャボイ、イワタイゲキなどの海浜植物のほか、ハクセンシオマネキやルイスハンミョウ、ミヤジマトンボなど多くの生き物が生息しています。中でもミヤジマトンボは国内では宮島にしか生息しておらず、最も絶滅が心配されているトンボの一種です。淡水と塩水が入り交じる塩性湿地という特殊な場所をすみかとし、開発の手が届かなかった宮島で静かに、たくましく生き続けています。



ミヤジマトンボのオス。成虫になるにつれて、全身がシオカ（黄色）に色づきます。

くじゅうと広島

平田 広三郎

とのかかわり

かかわりに気がついた端緒は、2月の「くじゅう」への研修旅行の際、交流会が開催された長者原（ちょうじゃばる）ビジターセンターで購入した参考文献を帰宅後パラパラとめくったときでした。

それは「坊がつる賛歌」のことで、この歌は歌手 芹 洋子さんがNHK「みんなの歌」そして「紅白歌合戦」に登場させています。

歌の誕生は、昭和27年の夏、坊がつるの「あせび小屋」にいた九州大学の学生三人の中の一人（编者）が、何となくある歌を口ずさんだのがきっかけといわれています。

歌は広島高等師範学校（現・広島大学、高師は東京高等師範学校、現筑波大学の2校のみ）の山岳部の山男の歌で寮歌に近いものだったようです。编者が日田高校時代に山岳部に所属していて、顧問の先生が広島高師出身でキャンプの時などに歌って教えたようです。

歌詞は9番まであり、内容はもちろん日田地方の事象の歌詞に修正されています。その後、九州地方ではボニーージャックスの歌った「山男の歌」について知られるようになり、芹 洋子が阿蘇での青年たちの集まりに招かれた際、耳にしたのがきっかけでレコード化されました。歌詞が青春の一断面を表わしている点や歌いやすさが特徴と言えます。

「坊がつる」とは、坊が僧院（法華院）を示し、ツルとは水流のほとりの平地を示す地形名（湿原と考えていいと思います）を表わすものです。歌の方はインターネットで検索してみてください。

* 参考文献

「九重山法華院物語（山と人）」

松本徕（ゆき）夫・梅木秀徳編 弦書房刊

助成金でゴムボート

かねてより「広島海の環境づくりプロジェクト」（アサヒビール協賛）へ申請していた入浜池汽水化復活整備事業に対して助成金44万円の配分を受けました。

この助成金で購入した、水中での観測、サンプル採取などに威力を発揮するゴムボートが現地へ到着したので、早速5月21日の入浜定点観測でテスト使用しました、ボートは4人まで乗ることができます。

（写真は3人乗りの場合）



編集後記

「広島海の環境プロジェクト」に続いて「セブン・イレブン記念財団」からの助成金も確定している。10年以上続けてきた、地道な活動が着実に評価されているものと思われる。これで会員の士気も一段と高揚し、活動にも益々力が入ること間違いないであろう。

（ 足立 ）

「みせん」次号発行予定

発行日	9月	1日
原稿締切	7月	末日

瀬戸内海国立公園

宮島地区パークボランティアの会

事務局 環境省 中国四国地方

環境事務所 広島事務所

（〒730-0012）

広島市中区上八丁堀6番30号

広島合同庁舎3号館1階

TEL(082)223-7450・FAX(082)211-0455

宮島詰所

（〒739-0505）廿日市市宮島町 1162-18

（宮島栈橋2F）